

学校教育目標 未来に向かって力強く生きる ひとみ輝く 和土っ子の育成

～ やさしい子:やさしいっばい かしい子:かっばい たくましい子:やる気っばい ～



和土小だより

さいたま市立和土小学校
令和7年 6月30日(月)
7月号

〒339-0033 さいたま市岩槻区黒谷1353番地 TEL048-798-0208 / FAX048-798-8730

学校Webページ: <https://wado-e.saitama-city.ed.jp/> Eメール: wado-e@saitama-city.ed.jp

児童数 148名

自然とつながる・地域とつながる

校長 中野尾 奈都江

校庭から昇降口に向かう途中に、青色と薄紫色の紫陽花(あじさい)の花が咲いています。手のひらに乗りそうな、まんまるな花は、梅雨の雨上がりに、雨の雫(しずく)でキラキラと光っていて、とてもきれいでした。

そして、カエル池のまわりの中庭には、沢山の野菜が植えられています。キャベツやナスにミニトマト、サツマイモにジャガイモ、今年はスイカも育っています。中庭で色々な種類の野菜が育つ様子を日常的に見ることができるのは、地域の方々から栽培のアドバイスをいただき、少しずつ中庭の畑が充実していったという経緯があります。和土っ子達は、日頃から野菜の成長や、草花の美しさに触れて、「自然」を身近に感じる毎日を送っています。また、苗が倒れないように支柱を立てることや、土が乾いていたら水をたっぷりとあげることから、お世話をしっかりしないと植物が枯れてしまう大変さを感じるとともに、実がだんだんと大きくなる喜びを知ります。植物の成長の様子から「生命尊重」の心を学んでいます。それは、野菜(食べ物)への感謝を感じるという食育にもつながっています。そしてこの「自然とつながる」は、本校の花笑み教育のテーマのうちのひとつです。



校庭横の紫陽花(あじさい)

先日、梅雨の晴れ間に、地域の農家の方と自治会、JA南彩の職員の皆様のご協力のもと、学校の近くのトウモロコシ畑で全校児童がトウモロコシを2本ずつ収穫するという体験をしました。大きなトウモロコシを嬉しそうに持ち帰る子ども達の笑顔が輝いていました。畑への道は、地域の方が、歩きやすく草を刈ってくださいました。地域の皆様のあたたかいご支援の下での体験活動は、花笑み教育の「地域とつながる」活動です。

さて、先日、第1回学校運営協議会を多目的室にて開催しました。令和7年度の委員15名は、学校開放委員会管理指導員、交通安全推進委員、自治会長、元主任児童委員・民生児童委員、岩槻南部公民館長、東武保育園長、城南中学校長、岩槻高等学校長、目白大学准教授、PTA会長、そして本校職員で構成されています。協議会に先立ち、委員の皆様には校舎を回っていただき、各学年の授業を参観していただきました。また、業間休みに「児童の意見表明」の場を設け、代表委員会委員長と各委員会の委員長が、委員会活動の「めあて」や「がんばっていること」を発表しました。6年生の委員長達は、身振り手振りを交えて自分の思いを元気な声で伝えていました。協議会では「学校運営に関する基本的な方針」について、承認をしていただいた後、「和土地域で育てたい子どもの姿」について「熟議」を行いました。「熟議」とは、「熟慮して議論すること」です。委員の皆様は、それぞれのお立場から、「和土小の子ども達を大切に地域で育てていきたい」という思いをお話してくださいました。そして、学校運営協議会として、育てたい子どもの姿を、「明るく 楽しく 元気よく あいさつができる 和土っ子」としました。この「育てたい子どもの姿」の合言葉については、スクールサポートネットワーク協議会でも、防犯ボランティアの皆様や各団体の方々にお伝えしました。学校でも、この合言葉と関連した「学び」ができるように取り組んでまいります。あわせて、新和小学校と城南中学校と3校で進めている「小・中一貫教育『花笑み教育』」での4つのつながり(「世界とつながる」「仲間とつながる」「地域とつながる」「自然とつながる」)も積極的に進めてまいります。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。